

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	資質・能力を育てたい	基本施策との関わり	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価 A S D	分析と改善点
方針・重点・郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育む	①深い学びを実感できる授業への挑戦 ②一人ひとりの協働・地域社会への発信 ③生きる力を育む ④生きる力を育む	輝く子、進んで学ぶ子・共に歩む子・自ら鍛える子	自分のために人のために自分からねばり強く挑戦する力	学力づくり	① 子どもが主体の授業づくり	・「主体的・対話的で深い学び」の実現 ・ICTの利活用 ・情報発信基地的図書館教育	A	【保護者アンケートの結果より】 ・新宮小は分かる授業づくりに取り組んでいるか。→よい・まあよい:96% ○1年生を中心に高山市チェックシートやCLMなどを活用して子どもの困り感とその要因を分析することで、個に応じた支援を充実させることができた。 ○低学年を中心に「学びの基盤づくりと基礎学力の定着」を研究し、各教科の学びの基盤を明確にしたことで、授業のねらいが焦点化されるようになった。 ○百マス計算や書き取りなど、根本的な基礎学力を向上させる取り組みの積み重ねにより、ほとんどの学年でCRTの結果が向上した。
					① 学びの基盤づくりと基礎学力の定着	・新スタートカリキュラム(1年生) ・読み書き計算、自ら学ぶ姿勢づくり	A	
					③ 探究学習「しんぐう学」	・体験学習から探究学習へ ・地域への発信	B	
				社会性づくり	② 居場所づくりと絆づくり	・みんなが楽しい学級・学年の経営 ・縦割り班「スマイル班活動」の推進	B	【保護者アンケートの結果より】 ・新宮小は一人一人を大切にしたい教育に努めているか。→よい・まあよい:92% ・児童は楽しく学校に通っているか→よい・まあよい:93% ・児童は仲間を大切にしているか→よい・まあよい:97% ・児童は何かには挑戦して生き生きと生活しているか→よい・まあよい:91% ○『挑戦』をキーワードにしながら個や集団の頑張りを認める活動を多く仕組んだことで、自己肯定感や自己有用感を高めたり他者と認め合う風土を培うことができた。 ○児童会委員会の活動を活発にすることで、高学年が学校生活の勢いを作り、自治や自主の気概を高めることにつながった。
					② 挨拶・掃除・ほかほか言葉	・あらゆる場での意味づけ ・児童委員会の自治的活動	A	
					① 暮らしを楽しくする特別活動	・児童委員会・学級活動・行事のわくわく企画 ・他者と楽しく行うクラブ活動	A	
				体と心の健康づくり	① にこにこチャレンジ運動	・楽しく体を動かす機会の充実 ・体育の授業の充実	A	【保護者アンケートの結果より】 ・新宮小は相談しやすい雰囲気か。→よい・まあよい:91% ○児童会運動委員会が「体幹トレーニング」を考え、全校で取り組みながら運動を楽しむ雰囲気を高めることができた。 ○毎月の生活アンケートを保護者と実施するようにしたこととトラブルを把握しやすくなり、問題が小さいうちに対応すること、いじめを未然に防ぐことにつながった。 ○相談室の名称を「あいルーム」とし全校児童に徹底するとともに、相談室の存在意義や使用目的などを共通理解することができた。また、担当する職員が情報共有できるようなファイルを作り、どの職員でも同じ指導方針で児童と向き合えるようにしたこと、学習に向かうことができる児童が増えてきた。
					② レジリエンスづくり	・SOSの出し方教育の推進 ・対話、コミュニケーションづくり ・失敗から学ぶたくましさづくり	B	
					② 居場所がたくさんある学校	・相談室の活用 ・積極的教育相談活動 ・全職員が“マイサポーター”	B	
				学校運営協議会における主な評価内容				